

# 令和3年度第2回松本市地域包括ケア協議会

## 次 第

日時：令和4年3月22日（火）

午後7時～

場所：松本市役所大会議室

### 1 開会

### 2 あいさつ

### 3 会議事項

#### (1) 報告事項

ア 在宅医療・介護連携委員会報告 …………… (資料1)

イ 生活支援体制整備委員会報告 …………… (資料2)

ウ 認知症施策推進協議会報告 …………… (資料3)

#### (2) 協議事項

地域包括ケア協議会の方向性について …………… (資料4)

### 4 その他

### 5 閉会

(報告事項)

在宅医療・介護連携委員会報告

1 委員会報告

(1) 第1回 (R3. 8. 5)

- ア 令和2年度松本市医療と介護の連携支援室活動報告について
- イ 令和2年度入退院連携ルール等運用状況調査結果について
- ウ 令和2年度地域包括支援センターエリア(日常生活圏域)における「在宅医療・介護連携の推進」の取組み状況について
- エ 第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画について
- オ 令和3年度事業計画について
- カ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業について
- キ 提言書について

(2) 第2回 (R4. 2. 7)

- ア 令和3年度事業報告について
- イ 令和4年度事業計画(案)について
- ウ 提言書について

2 事業報告

(1) 多職種連携研修会について(資料1-1)

地域包括支援センター単位の開催の他、今年度も新型コロナウイルス感染症対策の観点から Web セミナーで開催。YouTube 松本市公式チャンネルで令和3年1月9日～3月31日まで配信中。

- ア 講演「コロナ禍の 今こそ 話そう ACP (人生会議)」
- イ 講師 松本西訪問介護ステーション 元所長 阪野小百合 氏  
地域密着型介護老人福祉施設ゆめの里今井 施設長 藤田 智子 氏
- ウ 視聴回数 視聴回数670回(令和4年3月14日現在)
- エ その他

講師の阪野小百合氏におかれましては、病气療養中のところ令和3年12月31日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。  
ご遺族のお許しのもと、配信は継続しております。また追悼の意を込めて Web セミナーの再周知をしております。辛い闘病の中にあっても、多職種連携研修会の講演をお引き受けくださいました。阪野小百合氏ご自身のリビングウィルを語っておられ、多くのことを学ばせていただく講演ですので是非ご覧いただきたいと思っております。

(2) 松本市介護と医療連携支援室について

- ア 地域ケア会議等への出席及び出席者調整
- イ 連携先の開拓、訪問、連携体制の整備
- ウ 医療・介護分野に関する各種相談対応
- エ リビングウィルを考える会等の開催
- オ 多職種研修会、市民向け講演会等における周知・啓発の実施

(3) 松本市版リビングウィル（事前指示書）・人生会議の周知啓発について

- ア 周知啓発状況（令和3年11月分）
  - （ア）地域包括支援センターだより（11月号）の配布 6,660枚
  - （イ）リビングウィル様式の配布 5,426枚
- イ 全市の多職種連携研修会のテーマを人生会議として、医療・介護の専門職等へ周知
- ウ 地域包括支援センターだより（11月号）を松本市公式ホームページへ掲載
- エ 市内医療機関、薬局、地域包括支援センター、保健センター等において、松本市版リビングウィル（事前指示書）様式を設置し、希望者には専門職から説明のうえ配布
- オ 「地域包括ケアシステム事例集 V0L.5 〈人生会議〉」の作成・配布（別冊）

(4) 松本圏域入退院連携ルール運用状況調査の結果について（松本市提出分）

入退院連携ルール運用状況調査結果 運用率88.5%（前年比-1.5%）

(5) 自立支援型個別ケア会議について

ア 目的

地域包括支援センター職員が作成する介護予防支援計画等について、医療専門職が加わり、自立支援・重度化防止の観点で検討を行うことで、高齢者の個別課題の解決や参加者のスキルアップ及びネットワーク構築、地域課題の把握等を目指すもの。

イ 開催回数・検討事例数（R3.12月末現在）

回数：9回（月1回） 検討事例数：18事例（1回2事例）

ウ 出席者

地域包括支援センター、助言者（薬剤師、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、管理栄養士、医療コーディネーター、生活支援コーディネーター）、高齢福祉課、傍聴者（居宅介護支援事業所代表者、関係機関の専門職等）

エ 課題

（ア）助言者からのアドバイスを関係者に共有し、介護予防支援計画や継続した支援に反映していくこと（会議後の支援経過の把握と共有等）

（イ）関係機関、団体への会議開催、目的等の継続周知

（ウ）予防プランの約8割を居宅介護支援事業所に委託しており、介護支援専門員が助言を受けられる機会が少ない。

オ 今後の方向性

令和3年度は、事例提出者側に介護保険サービス事業所を加え、居宅介護支援事業所の代表者には傍聴参加していただき、助言を共有し連携する中で、高齢者の自立支援・重度化防止に焦点をあてた検討を実施していく。引き続き、関係機関への周知、協力依頼を行う。

令和4年度は、市主催で実施している会議に加えて、包括主催で年1回会議の定期開催を目指す。

3 令和4年度事業計画

- (1) 委員会の開催 2～3回
- (2) 在宅医療・介護連携推進事業

ア 多職種連携研修会の開催

一堂に会しての研修の他、リモート、小規模単位による実施など、状況に応じた開催を検討する。

(ア) 地域包括支援センターごとの多職種連携研修会等の実施

(イ) 全市レベルの多職種連携研修会の開催

イ 在宅医療・介護連携推進の取組みについての協議

ウ 松本市版リビングウィル（事前指示書）・人生会議の周知啓発の実施

エ 関係機関等との連携及び広域的な取組みの実施

- (3) 自立支援型個別ケア会議の開催

令和3年度 Web セミナー

## 松本市地域包括ケア多職種連携研修会

(第18回 松本市医師会在宅医療勉強会)

## コロナ禍の今こそ話そう ACP (人生会議)

- 1 看取りの体験を通して伝えたいこと  
阪野 小百合 氏 (松本西訪問介護ステーション 元所長)
- 2 特養での看取り 施設で看取るということ  
藤田 智子 氏  
(地域密着型介護老人福祉施設 ゆめの里今井 施設長)

進行 岡村 律子 氏 (松本市介護と医療連携支援室 医療コーディネーター)

(資料のみ) 松本市地域包括ケアシステム事例集 vol.5  
松本市地域包括支援センター 多職種連携研修会報告

11月30日は「人生会議の日」です。この研修会を通して、一人一人が何を大切に、どんな生(逝)き方をしたいか考えてみませんか？

令和3年11月9日(火)午前10時から

YouTube 松本市公式チャンネルにて配信開始

令和4年3月31日(木)まで配信予定

・当日の資料は、松本市ホームページの[健康・福祉](#)をクリックし、「お知らせ」から、ダウンロードしてください。(11月5日(金)午後1時からダウンロード可能です。)

#### <動画閲覧について>

- ・インターネット等通信ができる環境でご覧ください。
- ・松本市ホームページのリンクから、または、YouTube 松本市公式チャンネルでご覧ください。
- ・インターネットの通信環境等で動画が見えにくい場合もございますが、ご了承ください。
- ・当日の資料とともにアンケートがございます。今後の参考にさせていただきますので、お答えいただき、FAXで、ご返送ください。

主催：松本市地域包括ケア協議会

お問い合わせ 松本市高齢福祉課介護予防担当 TEL34-3237 FAX 34-3026 担当：丸山・百瀬き

## 生活支援体制整備委員会報告

## 1 委員会報告

## (1) 第1回 (R3.8.3)

- ア 令和2年度地区生活支援員活動報告
- イ 通いの場および生活支援サービス活動の状況

## (2) 第2回 (R4.2.18)

- ア 令和3年度事業の経過報告について
- イ 令和4年度事業方針案について

## 2 事業報告

## (1) 通いの場の整備状況

| 種類                   | 内容   | 新型コロナの影響について   |
|----------------------|--|--|
| 福祉ひろば<br>事業<br>(36館) | 各福祉ひろばで開催<br>ふれあい健康教室、イベント<br>などを開催          | 警戒レベルなどに応じ、感染拡大<br>期には事業を中止するなどしたが、<br>感染への警戒が必要な時期には、感<br>染予防対策を徹底して事業を実施 |
| 町会サロン                | 町会単位で開催                                      | 開催回数は減ったが、今年度は<br>289町会が申請   |
| いきいき<br>百歳体操         | 希望があった所から少人数<br>単位で開催。町会単位で開催<br>しているところが多い。 | 現在69カ所で活動を行う。令和<br>3年度新規は23カ所。コロナで中<br>止するも、様子を見ながら再開                      |

## (2) 生活支援サービスの整備状況 (資料2-1)

## (3) 地区生活支援員の活動報告 (資料2-2)

## (4) 人材育成講座

- ア 健康安全運転教室(長野ダイハツ主催、長野県理学療法士会・松本市共催)  
対象：送迎ボランティアなどで高齢者を同乗させることがある方20名  
日時：令和3年10月21日(木)午後1時30分から3時30分  
場所：長野ダイハツ販売株式会社 松本筑摩店  
内容：理学療法士による血圧測定・体力測定・運動指導、JAFによる死角・  
運転姿勢確認などの安全運転指導、スマートアシスト等の体験

## イ 社会福祉協議会人材育成

## (ア) ボランティア関係

- ・傾聴ボランティア養成講座 中止
- ・福祉体験学習サポーター養成講座 年2回

## (イ) 有償サービスつむぎちゃんサポート

- ・登録時説明会 年2回
- ・スキルアップ研修 年3回

(ウ) 地域中心の人材育成講座

- ・中山地区 ボランティア養成講座 2回 11名  
傾聴ボランティア講座 1回 14名
- ・寿地区 昼コース4回、夜コース4回 60名ほど参加
- ・各地域包括支援センター、地区生活支援員で認知症についての勉強会（人材育成講座を含む）を実施

3 令和4年度生活支援体制整備事業に関する事業方針について

(1) 地区生活支援員配置について

| 年度 | 地 区                               | 合計   |
|----|-----------------------------------|------|
| 元  | 第二、中央、寿台、里山辺、四賀、梓川、波田             | 7    |
| 2  | 城北、白板、庄内、松南、和田、笹賀、寿、本郷、松原         | 9    |
| 3  | 第三、島内、中山、島立、芳川、岡田、今井、内田           | 8    |
| 4  | 第一、東部、安原、城東、田川、鎌田、新村、神林、入山辺、安曇、奈川 | 11   |
| 計  |                                   | 35地区 |

(2) 令和4年度生活支援体制整備事業の計画案について

ア 生活支援体制整備事業の明確化と体制強化、および関係機関との連携強化

- ・生活支援コーディネーター業務内容及び通いの場や生活支援サービスの見える化と関係者への周知を図る。
- ・生活支援体制整備委員会（市）の構成委員を見直し、第2層（地区）の協議体については、機能強化のために、協議体の検証やモデル地区の選定を2カ所程度行う。
- ・地域づくりセンター長や民生委員等の関係職員との研修や連絡会の実施（生活支援体制整備のあり方作業部会年3～4回、合同研修会1回を予定）
- ・生活支援サービスごとの連携方法を検討することで地域間格差の是正を図る。

イ 通いの場・生活支援サービスの拡充

- ・新型コロナウイルスで途切れてしまったつながりづくりを取り戻すために、小さな交流の場や参加の場を柔軟に増やす。
- ・生活支援サービスについては、地域の活動や社会福祉協議会の有償サービス「つむぎちゃんサポート」も並行して拡充する。
- ・民間やNPO等との活動を把握し、支援やマッチングを行う。
- ・既に、これらの取り組みがある地区は、活動を維持していくための人材育成や通いの場等へつながりにくい住民へのアプローチも行う。

## 生活支援サービスの整備状況

## 1 生活支援サービス

## (1) 地域限定、住民主体：ごみ捨て、雪かき等

| 生活支援サービス名称        | 実施主体          | 活動形態 |
|-------------------|---------------|------|
| 中央地区福祉互助会         | 中央地区（地区生活支援員） | 住民互助 |
| 松原サポート            | 地区住民（地区生活支援員） | 住民互助 |
| 蟻北レスキュー(城北)       | 町会有志          | 住民互助 |
| 助け合おうぜ！中山         | 地区住民（地区生活支援員） | 住民互助 |
| こだま（松南）           | 町会有志          | 住民互助 |
| お助け隊島立            | 地区住民（地区生活支援員） | 住民互助 |
| 四賀かかわり隊           | 社協四賀地区センター    | 住民互助 |
| 寿地区ボランティア有償サービス事業 | 地区住民（地区生活支援員） | 住民互助 |

## (2) 広域または会員対応のもの、NPO 法人等

| 生活支援サービス名称   | 実施主体       | 活動形態  |
|--------------|------------|-------|
| ふらっと（庄内）     | NPO        | 契約による |
| ぽっかぽか（波田）    | NPO        | 契約による |
| JA 夢あわせの会    | JA 松本ハイランド | 会員制   |
| ワーカーズコープかがやき | 長野県高齢者生協   | //    |
| つむぎちゃんサポート   | 松本市社会福祉協議会 | //    |
| シルバー人材センター   | 公益社団法人     | //    |

## (3) その他、民間企業、介護保険サービス事業所

18カ所・・・もずみ商店、便利屋センター、ベンリー、スマートブレイン、メンタルジムシンブレス孫の手サービス等

## 2 移動支援

## (1) 住民互助送迎サービス

| 生活支援サービス名称                | 実施主体           | 活動形態          |
|---------------------------|----------------|---------------|
| 新村プチ送迎                    | 地区住民(福祉ひろばが支援) | 住民互助          |
| 送迎ボランティア会(笹賀)             | 地区住民           | 住民互助          |
| 送迎ボランティア(梓川地区)            | 梓川地区社協         | 住民互助          |
| 福祉ひろば送迎ボランティア<br>(17地区)   | 福祉ひろば運営推進協議会   | 住民互助          |
| 公共交通空白地有償運送<br>(四賀・安曇・奈川) | 社会福祉協議会        | 会員制（運転手は地域住民） |

## (2) タクシー型

| 生活支援サービス名称          | 実施主体       | 活動形態  |
|---------------------|------------|-------|
| 放光寺町会お互い様タクシー       | 町会、タクシー事業者 | 町会運営  |
| 島内デマンドタクシー          | 地区、タクシー事業者 | 協議会運営 |
| 島立デマンドタクシー<br>(試行中) | 地区、タクシー事業者 | 協議会運営 |

## (3) 通院サービス

| 生活支援サービス名称 | 実施主体    | 活動形態 |
|------------|---------|------|
| 松本協立病院通院送迎 | 中信健康友の会 | 会員制  |

## 3 見守りサービス

### (1) 住民主体

| 生活支援サービス名称  | 実施主体         | 活動形態 |
|-------------|--------------|------|
| 島内高齢者見守り隊   | 地域づくりセンター・包括 | 住民互助 |
| つながろう会（里山辺） | 地区生活支援員      | 住民互助 |

### (2) 松本市地域見守りネットワーク協定締結事業所（別冊）

新聞専売所（読売、中日、信濃毎日新聞）、宅配クック123・ライフデリ（配食サービス）、南信ヤクルト、コープながの、セブンイレブン、デリシア（とくし丸）、アルフレッサ・スズケン（医薬品卸）、第一生命、みらいさい福祉会、郵便局

## 4 移動販売

### (1) 地域発青空マーケット等

| 生活支援サービス名称                             | 実施主体                               | 備考            |
|--|------------------------------------|---------------|
| 中央地区青空市                                | まちづくり協議会                           |               |
| 寿台マルシェ                                 | まちづくり協議会・地区生活支援員                   |               |
| 「ちょっとよっていきましょ<br>～月1回診療ついでにちょっと<br>一息～ | 大野川区町会、のりくら観光協会、<br>乗鞍うまいもの工房等と関係者 | 6月から10月<br>開催 |

### (2) 食材・日用品等配達

コープ、生活クラブ、イオン、デリシア（とくし丸）、セブンイレブン、原ちゃん商店  
生坂大好き号、戸部商店、オーシャンフーズ、富成豆腐店、コタケ、地区内の商店等

\*これらのサービスについては、「みんなのお助け知恵袋第5版」等でお知らせ予定です。

## 地区生活支援員活動状況

令和元年度配置

令和4年2月現在

| 地区名 | 令和2年度の活動内容  | 令和3年度の活動内容   |
|-----|---|--|
| 第二  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度立ち上がった7町会のサロンへの継続支援と 町内公民館がない町会への立ち上げ支援を行う予定だったがコロナ禍で困難だった（町内公民館18町会中6町会）</li> <li>・第二地区まち歩きマップの作成</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内公民館がない町会へのサロン立ち上げ支援</li> </ul>   |
| 中央  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶会（オレンジカフェ）の開催</li> <li>・地区福祉互助会、民生児童委員と協力し手作りマスクを配布しながら住民の安否確認</li> <li>・朝市の継続支援</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会の避難行動要支援者のための個別支援計画作りに参加</li> <li>・地区内の住民のつどいの場探し</li> <li>・地区のマンパワーの発掘</li> <li>・包括と連携強化、個別地域ケア会議に参加</li> </ul>   |
| 寿台  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により身体機能の低下や孤立防止のため、町会ごと小規模でのいきいき百歳体操支援</li> <li>・寿台マルシェ、街角ランチ「かたらい」の継続支援</li> <li>・歩く習慣を取り戻してもらうため、ゲーム式のウォーキング記録表の作成</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お元気ですか訪問（サロン、通いの場訪問、相談、活動支援）</li> <li>・担い手養成（青年部等）</li> <li>・昨年度活動の継続<br/>（寿台マルシェ、街角ランチ「かたらい」、ゲーム式のウォーキング記録表作成）</li> </ul>   |
| 里山辺 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域見守り隊の立ち上げ支援</li> <li>・コロナ禍で閉じこもりがちの方へ「散歩」支援</li> <li>・いきいき百歳体操継続支援</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域見守り隊員の増員</li> <li>・町会公民館で認知症サポーター養成講座の開催</li> <li>・つながろう会活動支援（高齢者散歩支援・手作りベンチの作成、設置）</li> <li>・生活支援体制の検討・勉強会の開催</li> <li>・いきいき百歳体操立ち上げと継続支援、サークル代表者交流会の開催</li> </ul>  |
| 四賀  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホ講座、健康講座の開催</li> <li>・掲示板を設置し、住民同士の情報共有</li> <li>・通いの場支援（サロン、縁側隊交流会）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代の方と「地域を考える集い」を開催</li> <li>・高齢者宅に困りごとアンケート調査をしながら訪問</li> <li>・つながりのためのスマホ講座、健康講座、ウォーキング講座の開催</li> <li>・「いきいき百歳体操」体験会と立ち上げ支援</li> </ul>                               |
| 梓川  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でのサロン開催状況のアンケート実施</li> <li>・「かたくりの会」「横沢かたくりの会」支援</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォーマルサービス調査</li> <li>・ボランティアの会活動支援</li> <li>・いきいき百歳体操継続支援</li> </ul>   |
| 波田  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の理美容店、電気店、NPO法人等地域資源の把握</li> <li>・安心マップ作成</li> <li>・認知症カフェ開設支援（4月開設予定）</li> <li>・訪問送迎理美容サービス意見交換会の実施</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェ「しあわせカフェ」開設支援（R3年10月開設）</li> <li>・認知症サポーター養成講座開催（訪問送迎サービスのある理美容店対象）</li> <li>・地域資源情報冊子「波田くらしのささえあい情報」の作成（R4年3月発行予定）</li> <li>・交通手段の調査、移動販売の調査、地域資源の把握</li> </ul> |

令和2年度配置

| 地区名 | 令和2年度の活動内容   | 令和3年度の活動内容  |
|-----|--|---|
| 城北  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オレンジカフェ「カフェすいれん」の活動支援</li> <li>・ 令和3年度に実施する「困りごとの実態調査」へ向けての準備（グループワーク、地域ケア会議の開催支援）</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉の部会「困りごと実態調査」「ふれ愛を育てる集い」「地域ケア会議」等</li> <li>・ 地区サロン「カフェすいれん」、町会サロンの継続支援</li> <li>・ 地区社協、ボランティアメイツ活動支援</li> <li>・ 町会ささえあいマップ作成支援</li> </ul>  |
| 白板  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放光寺町会「お互いさまタクシー」試行実施への協力</li> <li>・ 「ご近所支え合いゲーム（ロールプレイング）」の実施</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉ひろば、地区の集いの場への参加</li> </ul>   |
| 庄内  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域資源マップの作成</li> <li>・ ボランティア支援者との関係づくり</li> <li>・ 地区有志運営のサロンや町会サロン等に参加し、情報交換や関係づくり</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「庄内福祉のチカラ」会議の在り方の検討と高齢者生活支援ガイドブックの作成</li> <li>・ いきいき百歳体操立ち上げ支援</li> <li>・ 子ども居場所づくり推進事業「なみカフェ」（並柳団地町会）のコーディネート</li> <li>・ 担い手養成講座開催</li> </ul>   |
| 松南  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援員だよりにて「空き家問題、町会活動」等取り上げ啓発</li> <li>・ 町会サロンの支援</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町会サロン、百歳体操立ち上げ支援（宮田中町会開始）</li> <li>・ 6町会にて「出前ふれ健」 保健師、ひろば、包括の顔つなぎの場として開催</li> <li>・ 支援員便り発行（二か月に一回）</li> <li>・ 宮田西町会にて「ささえあいマップ」作成支援</li> </ul>  |
| 和田  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍での引きこもりフレイルの早期発見（一人暮らしの方の安否確認等支援）</li> <li>・ 雪かきボランティアの募集</li> <li>・ 自主防災講座の実施</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町会サロンの立上げ支援（1カ所済、1カ所進行中）</li> <li>・ 移動販売の調査、希望先とのマッチング・交通手段の調査</li> <li>・ 日赤奉仕団、活動の仕方について支援・雪かきボランティアの募集</li> <li>・ 年6回のフレイル予防講座(キラリ健康講座・ひろば、保健師、包括共催)</li> </ul>  |
| 笹賀  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者向け情報紙（ポスターサイズと詳細冊子）の作成</li> <li>・ 町会サロンへの参加、支援</li> <li>・ 認知症の方を町会サロンに誘い見守りを実施</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「笹賀くらしの知っとく情報」の全戸配布</li> <li>・ 交通手段の調査（コミュニティーバス試乗とそれに伴うサービスの確認）</li> <li>・ 介護保険対象外の方・障がい者の通いの場の情報提供と支援</li> <li>・ いきいき百歳体操立ち上げ支援</li> <li>・ コンビニや個人商店・移動販売への聴き取り</li> </ul>   |
| 寿   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い世代（小5～中3及び保護者）対象に地区やボランティアにアンケートを実施</li> <li>・ 「民生さんのしゃべり場」の支援</li> <li>・ いきいき百歳体操立ち上げ支援</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元サポーター養成講座実施（9月～12月昼コース、夜コース計8回）</li> <li>・ 「ことぶきサポート」立ち上げに向けプロジェクトチームで検討を進めた。民生委員さん協力のもと70歳以上独居世帯、80歳以上高齢者世帯等へ「困りごと調査」実施。</li> <li>・ モデル町会（赤木町会、白姫町会等）で生活支援サービスの試行（2月）開始へ向けた支援。本格稼働は10月予定。</li> <li>・ 協力会員募集開始（12月と2月に全戸配布）</li> <li>・ 交通弱者対策検討</li> </ul> |

| 地区名 | 令和2年度の活動内容  | 令和3年度の活動内容   |
|-----|---|--|
| 本郷  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時等の安否確認でスマホが活用できるようにスマホ講座の継続支援開催</li> <li>・サロン活動立ち上げ支援</li> <li>・生活支援ガイドブックの作成</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動や立ち上げ支援、サロン交流会の実施、いきいき百歳体操推進</li> <li>・スマホ教室、スマホサロンの継続支援</li> <li>・地区ボランティア協議会のささえあい活動の支援</li> <li>・子どもから大人まで集えるプロジェクト ベンチ制作交流</li> </ul> |
| 松原  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・松原サポートの周知と協力体制の拡充、他地区支援</li> <li>・生活支援ガイドの作成と配布</li> <li>・避難行動要支援者などの見守り体制の検討</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき百歳体操立ち上げ支援</li> <li>・地域づくり（福祉）活動計画検討</li> <li>・防災研究会実施</li> </ul>  |

令和3年度配置

| 地区名 | 令和2年度の活動内容 | 令和3年度の活動内容   |
|-----|------------|--|
| 第三  |            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の為の地区マップ作成</li> <li>・地区危険箇所調査</li> <li>・町会サロン支援</li> <li>・生活困窮高齢者の見守り活動</li> </ul>  |
| 島内  |            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき百歳体操立ち上げ支援</li> <li>・コミュニティバスを活用した生活支援サービスを提案</li> <li>・防災個別支援計画作成中</li> <li>・地域・個別地域ケア会議への参加</li> </ul>   |
| 中山  |            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・有償生活支援サービス「助け合おうぜ！中山」開始</li> <li>・ボランティア養成講座実施(3回)</li> <li>・サロン再開の支援</li> <li>・移動サービスの検討</li> </ul>   |
| 島立  |            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・おたすけ隊島立（ゴミ出し、草取り、雪かき）継続支援</li> <li>・災害時住民支え合いマップ作り（三の宮町会）</li> <li>・「ふれあい安心ネットワーク」見直し（南栗町会）</li> <li>・いきいき百歳体操立ち上げ支援（大庭、町区、中村、三の宮、南栗）全10町会での体験会</li> <li>・移動販売、交通手段調査</li> <li>・介護予防講座（毎月1回）ひろば、包括と共催</li> </ul> |
| 芳川  |            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査実施（保育園、小中学校保護者、町会加入世帯向け）</li> <li>・移動販売支援、地区サロン、地区体操教室継続支援、ウェルカフェ百歳体操支援</li> <li>・スマホ体験講座</li> </ul>  |
| 岡田  |            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会サロン立ち上げ検討</li> <li>・認知症講演会の開催（公民館と共催）</li> <li>・山間部の高齢者の移動について調査</li> </ul>  |
| 今井  |            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会サロンの立ち上げ</li> <li>・出張販売実施・交通手段の調査</li> <li>・多世代交流ウォーキング実施</li> <li>・高齢者対象「生活の困りごと」アンケート実施中</li> <li>・包括・ひろば共催「スマホ講座」実施中（1回目開催済み）</li> </ul>  |
| 内田  |            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき百歳体操体験会開催</li> <li>・PPKスクール（介護予防教室）開催計4回（公民館、包括、保健師と共催）</li> <li>・町会サロン代表者の情報交換会開催</li> <li>・町会サロン立上げサポート</li> </ul>   |

## 認知症施策推進協議会報告

## 1 令和3年度活動報告

## (1) 協議会 年2回

ア 第1回 (R3. 7. 29) ※令和3年度第1回松本市地域包括ケア協議会報告済

イ 第2回 (R4. 2. 3)

(ア) 令和3年度進捗状況について (報告)

(イ) 令和4年度事業計画について (協議)

(ウ) ステップアップ講座マニュアル (素案) について (認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業) (協議)

(エ) 「認知症の人と家族の会」「四賀地区認知症カフェ」の活動について (情報共有)

## (2) 事業進捗状況報告 (R3. 12月末現在)

| 項目 (※)          | 事業名  | 内 容   |
|-----------------|--|---|
| 普及啓発・本人発信<br>支援 | ア 認知症サポーター<br>養成講座   | (ア) 開催回数76回<br>(イ) 養成数3,024人<br>(ウ) 認知症に関する学習 (ステップアップ講座) 希望者数144人<br>(エ) 認知症に関する地区活動やボランティア等希望者数118人   |
|                 | イ 認知症サポーター<br>活動促進   | (ア) より身近な地域での「共生」を目指し、各地域包括支援センター単位で、本人や家族の視点の重視した施策について、認知症の人への具体的な支援、チームオレンジ等について研修等を行った。<br>(イ) まつもとミーティング (本人ミーティング) の開催支援<br>(ウ) 認知症サポーター養成講座受講者へのアンケート実施<br>(エ) ステップアップ講座マニュアルの作成 |
|                 | ウ 認知症の関する相<br>談窓口の周知   | 相談窓口周知用ポスターを作成し、地域等へ配布  |
|                 | エ 認知症思いやりパ<br>スブック (認知症ケア<br>パス)                                 | 各地域包括支援センターで、個別対応、地域ケア会議、認知症サポーター養成講座、勉強会、集いの場等で積極的な活用の実施   |
|                 | オ 世界アルツハイマ<br>ーデー等への取組み  | 中央図書館、地区公民館でのブース展示の実施   |
|                 | カ 若年性認知症施策<br>の推進 (まつもとミー<br>ティングの開催)                            | (ア) 開催数6回 (7月、8月は中止)<br>(イ) 本人参加実数7人 (内市民5人)  |
| 予防              | ア 各地区で開催しているもの忘れ相談会等で認知症チェックリストの活用<br>イ 他課と連携し「通いの場」の立ち上げや地域での周知 |   |

|                                  |                                |  |
|----------------------------------|--------------------------------|--|
| 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援             | ア 認知症思いやりサポートチーム(認知症初期集中支援チーム) | (ア) チーム員会議開催回数9回(月1回実施、オンライン開催含)<br>(イ) 支援対象者件数14人(令和2年度より継続6人、令和3年度新規8人)<br>(ウ) 令和3年12月末支援終了者件数8人(下記内訳)<br>・介入時、専門医未受診者は5人だったが、4人が専門医受診につながり、1人は医療につながった。<br>・介入時、8人が介護保険サービス未利用だったが、6人がサービス利用となり、1人は地域のインフォーマルサービスを継続利用している。<br>・支援の結果、8人全員が在宅生活を継続。 |
|                                  | イ 認知症思いやり相談                    | (ア) 開催回数4回<br>(イ) 相談件数12件  |
|                                  | ウ 物忘れ相談会                       | (ア) 開催回数57回<br>(イ) 相談者数26人   |
|                                  | エ 認知症カフェ                       | (ア) 継続数16か所(新規開設1か所含)<br>(イ) 休止数10か所、その他2か所<br>(ウ) 認知症サポーター活動数16か所<br>(エ) 認知症の方本人の参加数12か所  |
| 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援 | ア チームオレンジ設置の向けての検討             | (ア) 認知症地域支援推進員連絡会での検討<br>(イ) 他中核市等への状況確認<br>(ウ) 県主催研修会への参加   |
|                                  | イ 徘徊高齢者家族支援サービス事業              | (ア) 思いやりあんしんカルテの登録数111件(累計226件うち死亡等115件)活用数6件<br>(イ) 松本警察署との意見交換会実施や徘徊探知機についての説明会の受講   |
|                                  | ウ 成年後見制度利用促進                   | (ア) 中核機関を広域設置(4月)<br>(イ) 相談窓口の明確化(一次・二次相談機関)<br>(ウ) 講演会等の開催やパンフレット、市公式ホームページを活用しての制度周知<br>(エ) 松安筑成年後見ネットワーク協議会設置<br>(オ) 後見人等候補者を推薦する専門委員会の設置<br>(カ) 松本市地域福祉計画と一体的に成年後見制度利用促進基本計画の策定  |

## 2 令和4年度事業計画

### (1) 基本方針

認知症になっても、自分の意思が尊重され、希望をもって自分らしく日常生活を過ごせる松本市を目指すため、認知症の人や家族の視点を重視した認知症施策推進大綱を踏まえ、第8期介護保険事業計画に基づき、施策を進めます。

## (2) 主な取組み内容

### ア 普及啓発・本人発信支援

#### (ア) 認知症サポーター養成講座の開催

認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の人や家族を見守り・手助けし、共に活動する認知症応援者(サポーター)の養成講座を開催します。

#### (イ) 認知症サポーターの活動促進

認知症サポーター養成講座受講者の更なる活動につながる環境づくりに向け、地域の実情に応じて、地域住民、地区担当職員、キャラバン・メイト等と協力し、ステップアップ講座(人材育成)を実施します。

#### (ウ) 認知症に関する相談窓口の周知用ポスター等を活用して、物忘れ等に関する身近な相談場所として、地域包括支援センター等を周知します。

#### (エ) 認知症地域支援推進員を中心に、各地区で認知症ケアパスを活用しての積極的な普及啓発

#### (オ) 世界アルツハイマーデー及び月間における図書館等との連携による普及啓発

#### (カ) 若年性認知症施策の推進

若年性認知症コーディネーター(県委託)、医療機関等と連携して、若年性認知症相談窓口等の周知やまつもとミーティング(本人ミーティング)の開催支援を行います。

### イ 予防

認知症ケアパス(認知症チェックリスト)を活用し、早期対応等に関する普及啓発を行います。また、地域にある身近な通える場「通いの場」を周知し、予防、セルフケアに関する啓発に努めます。

### ウ 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

#### (ア) 認知症初期集中支援チーム

認知症になっても、本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、認知症サポート医の助言を受けながら認知症の人やその家族に、早期に関わり、早期診断や早期対応に向けた支援を行います。

#### (イ) 認知症思いやり相談の開催(年間6回)

#### (ウ) 物忘れ相談会の開催(各地域包括支援センターが身近な地域で開催する相談会)

#### (エ) 認知症カフェ

認知症の人と家族、住民、専門職等、誰もが気軽に相談ができ、必要な支援につながる場、安心できる場として「認知症カフェ」の開設、運営支援を行います。

### エ 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

#### (ア) チームオレンジ設置に向けての検討

地域において把握した認知症の人やその家族のニーズと認知症サポーター活動をつなげる仕組み「チームオレンジ」の設置に向けて、既存の地域における見守り、支えあいの仕組みや生活支援体制整備事業との連携、認知症サポーター等の活動促進等を踏まえて検討を行います。

#### (イ) 徘徊高齢者家族支援サービス事業

#### (ウ) 成年後見制度利用促進

#### (エ) 消費者被害防止施策、虐待防止施策の推進

(協議事項)

## 地域包括ケア協議会の方向性について

### 1 趣旨

平成26年からスタートした地域包括ケア協議会のあり方について今後の方向性を検討するものです。

### 2 検討経過

R3. 3 生活支援体制整備委員会から提言書提出について提案あり

R3. 4 中核市へ移行するとともに社会福祉審議会がスタート

8 担当課にて地域共生社会\*の進め方を議論するなかで、地域包括ケア協議会のあり方について検討を開始

10 社会福祉審議会・専門分科会事務局（福祉政策課・高齢福祉課）にて検討

R4. 2 地域包括ケア協議会各委員会において内容を報告

### 3 R4年度地域包括ケア協議会移行の背景について

(1) 本市では令和5年度に向け地域共生社会の取組みを検討している。

(2) 中核市移行に伴い、条例により設置された諮問機関である社会福祉審議会と、地域包括ケア協議会の所掌事項が重複するため、見直しが必要となった。

### 4 地域包括ケア協議会の方向性について

(1) こどもから高齢者まで切れ目のない支援体制を検討するため、社会福祉審議会及び、各分科会へ役割を移行する。

(2) 今まで協議を重ねてきた在宅医療・介護連携委員会および生活支援体制整備委員会は、現場の生の意見を集約し、新たな施策へ反映させる協議体とする。

### 5 今後のスケジュール（案）

(1) 令和4年度に「地域共生社会を見据えた支援体制」について、社会福祉審議会の諮問事項としたい。

(2) 令和4年8月の委員の任期満了に伴い地域包括ケア協議会は終了し、各委員会は、現場の迅速な課題解決に向けた活動を存続する。

#### \*地域共生社会とは

社会福祉法や介護保険法の改正に伴い、今まで取り組んできた地域包括ケアシステムの手法を参考に、「こども、高齢者や障がい者」という枠組みや、「支えられる側」「支える側」といった従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割をもち、助け合いながら暮らしていく事の出来る地域や社会を創るという考え方。

# 地域包括ケア協議会の方向性について

資料4-1

(R4.3.22差替)

